

THE DIARY OF

原作=アンネ・フランク

訳・演出=丹野郁弓

ANNE FRANK

脚色=フランセス・グッドリッチ/アルバート・ハケット

装置=勝野英雄/照明=前田照夫/衣裳=前田文子/効果=岩田直行/舞台監督=風間拓洋

アンネの日記

プロローグとエピローグのある二幕

千葉茂則

山梨光國

齊藤尊史

吉岡扶敏

本廣真吾

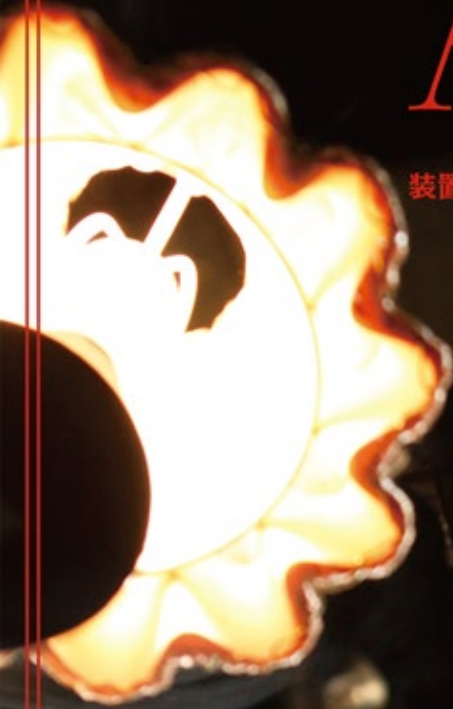
白石珠江

細川ひさよ

飯野 遠

八木橋里紗

平山晴加



Beste Jet,
 Als ik een klein krabbelt eruss...
 jij ook geen diefland. Du hoe gade in mee?
 Alleen een beetje vande schrik bekomen,
 ik hoop van soet. Hier is gelukkig nog
 alles bij het oude. Ik heb vandaag Rijden
 gemaakt van de D. ransse onregelmatige.
 Overig. Het is een pillies en servetend
 beetje maar ik wil het graag afmaken.
 Ik heb nog niet van de...
 Ik heb...
 ...
 ...

劇団民藝公演

Photo: Takaki Takeuchi / Design: Yago Matsuyoshi

THE DIARY OF ANNE FRANK 劇団民藝公演

アンネの日記

原作=アンネ・フランク

脚色=フランセス・グッドリッチ/アルバート・ハケット

訳・演出=丹野都弓

プロローグとエピローグのある二幕



私、信じてるの、周りは悲しいことだらけだけど、それでも人間の心の中は絶対に素晴らしいのだと

13歳から2年余りの最も多感な年頃に自由を奪われ、飢えに苦しみ、絶えず生命の危機に脅かされながらも、少女アンネ・フランクは鋭い感性と明るいユーモアの目で夢と希望を日記に綴りました。劇団民藝では1956年に初演、これまでに14度の上演を重ね、数々の賞とともに延べ1700ステージ以上のロングランを記録しています。

屋根裏部屋でくりひろげられる緊迫した舞台が、また新たに幕を開けます。

【ものがたり】 1942年夏。オランダに住むアンネ一家は、アムステルダムのとある屋根裏部屋に隠れました。街ではナチスのユダヤ人狩りが猛威をふるっています。昼間は声も立てられず、水も使えず、深刻な食料不足。そんな中でも明るくのびのびと振る舞うアンネは、しばしば母や同居人たちと衝突します。でも少年ピーターだけは心が通いあい、ほのかな愛情が芽生えます。絶望の淵に連合軍が上陸したというニュース！ 解放の日は近い。だが、2年目の夏の午後、階下で不気味な電話が鳴り続けるのでした……。

